

更なる飛躍（ステップからジャンプへ）

南あわじ市長 中田 勝久



新年あけましておめでとうござい
ます。市民の皆様におかれまして
は、輝かしい新年をお迎えのこと
心からお慶び申し上げます。また、
市政運営に對しまして昨年中に賜
りました暖かいご支援とご協力に厚
くお礼申し上げます。

市制10周年を迎えた昨年は、新
庁舎をはじめとするビッグプロジェ
クトが完成し、庁舎の一本化に合
せて市内21地区公民館に市民交流
センターを設置するなど、行政の
仕組みにおいても大きく変わった年
でありました。

さて、地方（地域）創生が言われ
ていますが、言うまでもなく、地方
自治体には一層の創意工夫と積極的
な取組みが求められております。直
面する課題への対応とともに、南あ
わじ市版まち・ひと・しごと創生総
合戦略など、未来への布石となる施
策の検討も併せて行っております。
総合戦略では、めざすべき将来への
方向性として大きく4つの基本目標
を掲げ、様々な検討を急いでいます。
一つには、地域ぐるみで支え合い、
笑顔がたえないまちづくりでありま
す。市民交流センターでは、市民の
皆様のご理解のもと、地域づくり協
議会において、様々なまちづくりへ

な自然、食文化、史跡や伝統芸能な
ど豊富なふるさと資源を有してあり
ます。しかし、まだまだPR不足は
否めません。このことは、逆にPR
を充実させていくことよって「のび
しろ」がまだまだあるとも考えられ
ます。交流人口の増加のためには、
南あわじならではの、ふるさと資源
を生かし、観光と結びつける取組み
が必要であります。南あわじの魅力、
味の積極的な発信、PRを図って
まいります。

四つには、子育てしやすいまちづ
くりであります。合併以降、少子対
策に積極的に取り組んでまいりまし
た。昨年は3歳から5歳児の保育料
無料化の取組みを実現することが出
来ました。今後も、「子ども・子育
て支援事業計画」に基づいて取り組
んでいくとともに、教育環境の充実
も継続して推進を図ります。また、
福祉面では、津井地区で福祉の里づ
くりの取組みが動き出します。

私自身、平成25年2月に皆様から
3期目の負託をいただきました。い
よいよ仕上げの時、ホップ・ステップ
に続いて、南あわじ市が大きくジャ
ンプする年に、更なる10年、そして
未来に向かっての大きな布石となる
年になるよう職員一丸、頑張ってい
ります。最後に市民の皆様方の一層の
ご理解・ご支援をお願い申し上げま
すとともに、本年が、皆様一人ひと
りにとって、素晴らしい一年となりま
すよう、心よりお祈り申し上げます。

謹賀新年

平成28年



あたらしい10年に向かって

南あわじ市議会議長 原口 育大



新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様にはご健康で希望に
満ちた新年をお迎えのことと心よ
りお慶び申し上げます。

南あわじ市議会を代表して新年
のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年は南あわじ市制10
周年の記念すべき年でありまし
た。11月に行われた記念式典会場
では、合併後の厳しい財政状況の
中、財政健全化に取り組みながら
選択と集中で少子化対策などの重
要施策に積極的に取り組んできた
10年間の歩みが映像で紹介されま
した。

市民の皆様のご理解とご協
力のお蔭で迎えることができた10
周年であったと、感謝の気持ちで
いっぱいです。

一方、昨年の4月からは、新庁
舎の開庁と分庁舎の廃止に伴う市
内21か所の市民交流センターの開
設など、窓口サービスの市内平準
化・行政組織の大幅な見直し等も
行われました。

二元代表制の市長と議会は、立
場は異なっても市民の声を大切に
しながら「市民の福祉の向上を目
指す」という目的は同じであり、
新しい体制がより良いものとなる
ように市民の皆様とともに努力し
なければなりません。

現在市では、全ての計画の基本
となり、地域づくりの最上位に位
置づけられる新総合計画や、まち・
ひと・しごと創生法に基づく地方
版総合戦略、インフラの適正化を
見据えた公共施設等総合管理計画
など、あたらしい10年に向かって
様々な中長期計画を策定中であり
ます。

財政計画では、合併算定替えの
終了する平成32年においても安定
した経営ができる自治体を実現し
なければなりません。

市民の一人一人が「合併して良
かった」と実感できるまちづくり
を目標に、今後の南あわじ市の骨
格となるこれらの各種計画に対し
ても、執行部とともに議論を深め
ていきます。

結びにあたり、本年が市民の皆
様にとって素晴らしい一年となり
ますようご祈念申し上げます、新年
のご挨拶といたします。

平成27年 南あわじ市 10大ニュース



市役所新庁舎開庁
市役所の新庁舎が完成し、4月から業務をスタート。あわせて市内21地区で市民交流センターの業務をはじめました。

若人の広場公園完成
阪神・淡路大震災の被害などで閉鎖となっていた若人の広場を都市公園として再整備。誰もが憩え、平和を祈れる公園となりました。

大相撲淡路島場所
大相撲淡路島場所が開催され、横綱や大関のほか、地元出身力士らの迫力ある取組を約1300人の観衆が観戦しました。

プレミアム付き商品券発売
市内で6回目となるプレミアム付き商品券「きばっていこう!南あわじ市商品券」を発売。今回は20%分のプレミアムが付きました。

全国戦没学徒追悼式典
出陣学徒壮行会が行われた10月21日にあわせ、若人の広場公園で終戦70年全国戦没学徒追悼式典が行われ、恒久平和を誓いました。

食の拠点施設がオープン
淡路島の食材を一同に集めた県内最大規模の直売所「美菜恋来屋」がオープン。生産者が見える安全・安心な食材を販売しています。

花みどりフェアを開催
淡路花博2015花みどりフェアが開催され、72日間の期間中、各会場に島内外からあわせて350万人以上の人が訪れました。

銅鐸7点が出土
松帆地区から弥生時代前期末～中期の銅鐸7点が出土。銅鐸を鳴らすための舌(せつ)や銅鐸を吊るすための紐も確認されました。

全国女性消防操法大会出場
市消防団「なでしこ分団」が、全国女性消防操法大会に出場。日頃の訓練の成果を発揮し、みごと全国7位に入賞しました。

市制10周年式典を開催
南あわじ市が誕生して10年を記念して式典を開催。合併後、市政に功労のあった個人や団体が中田市長から表彰されました。